

# JMASの活動に参加している同期生の紹介

## 1 JMAS (Japan Mine Action Service; 認定NPO法人 日本地雷処理を支援する会)の概要

JMASは、平成14年5月、NPO法人として設立され、同年7月1日カンボジアでの不発処理事業を皮切りに、現在では、カンボジアにおいて不発弾処理事業及び地雷処理・地域復興支援事業を、ラオスにおいて不発弾処理事業を、アフガニスタンにおいて不発弾・地雷処理事業を、パキスタンにおいて水道改良事業を、アンゴラにおいて地雷処理・地域復興支援事業を、つまり、5か国において6個事業を実施中です。

## 2 JMASと12期生の係わりについて

JMASは、初代会長に防大3期生の西元徹也氏、初代理事長に防大9期生の土井義尚氏が就任されましたが、平成19年11月、会長に先崎一君、理事長に野中光男君と、12期生がその重責を引き継ぎました。

また本部事務所では、監事に藤本四郎君、副理事長兼事務局長に松尾和幸君、カンボジア地雷処理事業PC(プロジェクトコーディネーター)に菅内透君、アフガニスタン不発弾・地雷処理事業PCに久井勲君、アンゴラ地雷処理・地域復興支援事業に猿渡崇君が就いており、海外での不発弾・地雷処理等現場での活動をサポートしています。

## 3 海外で活躍の同期生3名

現在、同期生3名がJMASの海外で活躍中です。その3名は、カンボジア現地代表として古賀英松君、アフガニスタン・パキスタン現地代表として筧隆保君、ラオス不発弾処理専門家として中條宏君が頑張っています。(写真1～3 参照)

写真1 カンボジア地雷処理事業に関して、カンボジア地雷処理センター長官とのMOU(覚え書文書)締結式に臨んだ古賀英松・カンボジア現地代表



写真2 アフガニスタンの首都カブール北方の地雷処理現場で現地  
スタッフを指導する筧隆保・アフガニスタン現地代表



写真3

ラオスの不発弾処理現場でTBS取材のインタビューを受け  
る中條宏・ラオス不発弾処理専門家

